



# 富士見台

家庭数配布

<http://www.fujimidai-e.nerima-ky.ed.jp/>

## 生きている土 —国際土壤年に寄せて—

校長 眞瀬 敦子

新しい学校農園を探して、この半年、富士見台のあちこちのお宅にお邪魔して、お願いしたり話を伺ったりしてきました。

ようやく土地を貸してくださりそうなお宅が見つかったのですが、建っていた家を壊したところにガラを入れてしまっているの、それを全部掘り返すには人力では無理だし、その後新しく土を入れ足さなければ畑にはならないと言われ、お金のない学校は泣く泣くあきらめざるを得ませんでした。

元畑地だったという駐車場は結構色々なところにあるのですが、畑の良い土ただけに雑草のはびこり方がひどく、コンクリートを打たざるを得ないのだとのこと。

学校の敷地もあちこち掘り返してみましたが、大勢の子供たちに踏み固められた土や、コンクリートで覆われてしまった土は、もはや呼吸をしていないのだということ、身を以て知りました。

そんな時に目にしたのが、「今年国連の『国際土壤年』である」という小さな新聞記事。

『土壌』というのは、植物を育てる力のある「生きている土」のことを言うので、無尽蔵にあるように見えて、地球上の土壌の全てを集めても、地表に均して広げると、厚さはたった18cmにしかないのだそうです。

しかも数センチを作るのに数千年かかるという貴重な土壌を、人類はこの百年で半分の量にまで減らしてしまっている、つまり土を殺してしまっているというのです。

私も普段はあまり意識していなかったのですが、今回、命を育てる畑を探し歩いてみて、このことを実感しました。

例えば“ほりきた憩いの森”や、6年生と行った軽井沢の国有林の土は、歩いていてもふっくらと柔らかく、その片足分の土の中にはミミズからバクテリアまで、何と8万匹もの土壌動物が棲ん

でいるのだそうです。正に生きている土、命を育む土なのです。

日本は今少子化が大きな問題となっていますが、世界的に見れば20世紀初頭に約16億人だった世界の人口は現在70億を超え、10年後には81億人に達すると予想されています。

難民問題など、もはや国境を越えて、全地球のこととして考えなくてはならない問題が次々と起こっている今、爆発的に増える命を支えているのが、他ならぬ土壌であることを、畑が見つからず、どうにも仕方なくて、買って来た土の袋に大根の種を蒔きながら、考えたことでした。

## 研究授業の参観について

9月30日に2年生の算数少人数制の校内研究授業が行われ、25名もの保護者の方が参観くださいました。有り難うございました。

この授業は九九への導入として、多様な考え方をさせながら、ただの暗記ではなく、何故九九を使うかということを考えさせる大切な思考を育てるものでした。

少人数制は、どのクラスにいるからよい、ということではなく、児童一人一人の思考に合った学びを大切にすることであることも、皆様にご理解くださっているようで、嬉しく思います。

また、先日の保護者会の折りにお願いした、静かに子供たちの学びを見守ってほしい、というお願いも、ほとんどの方が守ってくださいました。

これからも、小さいお子さんや、携帯でのおしゃべり等に集中をそがれることなく、真剣に学ぶ子供の姿をご覧いただきたいと思います。

## 自転車で学区外に出ることについて

学校では、安全上の理由から学区外に子供だけで自転車で遊びに行くことを禁止しておりますが、如何なものかというご質問がありました。最終的にはご家庭の責任においてご判断ください。くれぐれも危険のないよう、お子さんとよく話し合っただければと思います。

## ☆5年生 岩井移動教室☆

9月14日(月)～16日(水)まで5年生は初めての移動教室に行ってきました。行く前は期待感と不安感でいっぱいではありましたが、準備から楽しく取り組むことが出来ました。そしていざ移動教室が始まり、練馬では出来ない多くのことを体験することができ、子供たちの表情も素敵なものでした。

一日目、出発したばかりバスの中には興奮している子、車酔いを気にしている子、眠そうな子、と様々な子供たちの様子が見られました。しかし、どの子たちも最初の目的地である新日本製鐵所の見学が始まると、その迫力に驚いていました。鉄を延ばす時の熱さや音の大きさは、実際に行かなければわからないことです。「これが車とかになるのか。」と不思議そうにしている子もいました。続くアジの開き体験もやってみて初めてわかることがたくさんありました。現地の方がアジを開いて見せると、「あ、店に並んでいるのと同じになった！」という声。他の動物の命をいただいていることや、自分の元に届くまでに多くの人が関わっていることが感じられたようです。夜のキャンプファイヤーでは猛獣狩りゲーム、ソーラン節、ジンギスカン(2回)をして盛り上がりました。天候にも恵まれ、空を見上げると東京ではなかなか見られないような満天の星空でした。

二日目はとにかく体を動かしました。砂山でのサンドスキーでは砂に足を取られながらも何度もソリで滑り、大房岬では水中や岩陰をのぞき込み、多くの種類の生物を見つけることができました。地曳き網体験ではみんなでかけ声をかけながら網を引き、多くの魚を収穫しました。自分たちで収穫した魚(いなだ)を夕食で食べられたのも良い経験です。

最終日、鴨川シーワールドでは班ごとに協力して多くのショーを見ることができました。班で決めた予定通りに全員そろって行動している班が多かったことにとても感心しました。

移動教室で子供たちは「5分前行動」「友達のいいところを見つける」「声をかけ合う」という3つの目標を立て、みんなで楽しむことを頑張りました。この移動教室で子供たちにとって良かったことの中に次のことがあります。それは「目標を達成する力が自分たちにはあると感じられたこと」だと思います。イベントを楽しみながらも3つの目標を意識出来た子供たちは本当によく頑張ってくれました。全力を出し切ってくれたと思います。その姿に引率した教員一同より心からの拍手を送ります。がんばれ5年生!富士見台小学校のナンバー2としてもっと大きくなるぞ!

5年担任 坪田真尚 河原和美 伊井健太

- 1日(木)都民の日
- 2日(金)体育朝会 なわとび月間始
- 3日(土)学校応援団まつり
- 5日(月)全校朝会 2年南田中図書館見学  
委員会活動
- 8日(木)児童集会 ふじみタイム・交流給食
- 10日(土)学校公開(2時間) 学校保健委員会
- 12日(月)体育の日 13日(火)全校朝会
- 14日(水)避難訓練(2年起震車体験)
- 16日(金)1学期終業式
- 19日(月)2学期始業式 クラブ活動
- 21日(水)4時間授業(教育会研究会のため)
- 22日(木)音楽朝会
- 23日(金)富士見台フェスティバル(3・4校時)
- 24日(土)さんまで全校親睦会
- 26日(月)全校朝会 クラブ活動
- 27日(火)読書旬間始 児童集会
- 28日(水)1年2組のみ5時間授業  
他学年は4時間授業(校内研究会のため)
- 29日(木)就学時健診
- 30日(金)なわとび月間終 クリーンデー

### 新しい先生です、よろしくお願いたします!

3～6年の算数少人数を担当していました江橋理恵子主任教諭が、出産のため産休に入りました。替わって竹内桃子教諭が着任いたしました。どうぞ、よろしくお願いたします。

### 給食委員会

給食委員会では、全校のみんなが配膳や片付けをきちんとできるように、クラスごとに『配膳台チェック』を週一回行っています。

そして、その結果に基づいて金賞、銀賞、銅賞のメダルの付いた賞状を配布しています。メダルにはかわいらしいイラストを描いたり丁寧に色を塗ったりしています。銀賞、銅賞だったクラスには、どこをどのように直せばいいのかを具体的にアドバイスしています。金賞を取るクラスはまだ多くはありませんが、どのクラスもできるだけ残さず食べて、きれいな配膳台になるよう頑張っていきたいと思います。

最近の子供たちの中には、和食のときのご飯と汁物を置く位置が分からなかったり、骨のある魚がうまく食べられなかったりすることも見られます。食育については、ご家庭の日々のご協力が不可欠です。子供たちのよりよい発達と成長のために、家での食事のときも声かけや御指導を、よろしくお願いたします。

担当 小林一匡、山家優平

10月生活目標 すす がくしゅう ようい  
進んで学習の用意をしましょう